

2021/5/10-2

(うとQ世話し「三無い尽くし」の逆手取り)

コロナ渦になって2年目。

外出自粛や行動制限など「遊ぶ場所と時間」が大幅に減っています。

特にお金や道具を使った外での、且つ大勢での遊び場所と時間が。

こうなると

「お金がないと遊べない人」

「道具がないと遊べない人」

「一人遊びの苦手な人」

は大変困っていると思います。

一方元々の日常が

「お金がない」「道具もない」「仲間もそれほど居ない」などの人たちは

「お金がなくても、逆にないことを楽しんで出来る遊び」「道具がなくても代替品を見つけ出来る遊び」「一人でも楽しく出来る遊び」を工夫開発して、それなりに持っているので、なんとか凌いでいるのではないかな？と推察しております。

これが、何に効いてくるかと言えば「打つ手無しギブアップ」や「ぶち切れのヤケクソ」になるまでの持ち時間の長さです。

もっと平たく言うと

「サバイバル可能時間」

お金も道具も他人様も、言ってみれば、もって生まれた「自分以外」のものは「自分の外のもの」です。なかなか思い通りにならないものです。

そこに行くと「自分の範疇」であれば、それは、より手の届きやすい、自分で何とかしやすい、より実現可能性の高い、使い勝手も良いものでしょう。

だとすれば、

それはそれで、結構言いチャンスなのかもしれません。

是までとは違った価値観を見いだす上で。

或いは

他に頼らず自分独自のものを見いだす上で。

そして

自分本来に立ち返る上で。

そういった意味で、

絶好のチャンスと言えなくもない気がします。

少なくとも、

上記「三無い尽くし」の自分としては

「現状の逆手取り」を成る丈するようしております。

(追記)

意味的には「現状（三無い尽くし）の逆活用」と言った方が良いような気もしております。
只、題名としては「逆手取り」の方が耳になじみやすそうなので「逆手取り」を採用致しました。